

令和8年度 消防団危険予知訓練（S-KYT）研修を行いました

令和8年7月18日（土）滋賀県立文化産業交流会館（米原市）にて、消防団員等公務災害補償等共済基金のご協力の下、消防団危険予知訓練（S-KYT）研修を行いました。

講師には、消防団員等公務災害補償等共済基金 S-KYT 指導員の、一本木 正行（いっぽんぎ まさゆき）様、佐野 弘（さの ひろし）様、清水 武（しみず たけし）様、林 敏哉（はやし としや）様、野田 高広（のだ たかひろ）様、をお招きし、約4時間にわたり、講義や実技、DVD上映等で安全活動の研修を実施していただきました。

このS-KYT研修とは、これからリーダーとして活躍し、教育訓練の指導にあたる消防団員を対象に、安全活動のための様々な手法を経験し、日常の現場で危険に対する予知能力を高め、公務災害を未然に防止するための訓練です。

研修では、41名が8班に分かれ、チーム単位の自己紹介の後、講師による講義、消防団員安全教育（S-KYT 編）のDVD上映がありました。

実技1では「指さし呼称」「指差し唱和・タッチ&コール」という、一人一人が消防活動を安全に行うために、活動の要所要所で行う「確認行動」の有効な方法の1つで、それぞれチームごとに分かれ、「ヨシ！」と気合いの入った掛け声で実践されていました。

実技2「健康自己チェック」「健康問いかけKY」でリーダーはメンバー1人1人の健康状況を観察、具体的な問いかけ方法を学び、午後からの実技3では、イラストシートを用いて、活動現場に潜む様々な危険を見抜くシュミレーションで、各チームごとに意見を出し合いました。

その後、各チーム毎にS-KYTレポートで、危険要因、危険のポイントに対する具体策、チームの行動目標を記載し、意見発表が行われました。

講師の先生方の的確な指示の下、参加された団員の皆様は、真剣に聞き入り、メモを取るなどされており、一日を通して様々な手法や予知の仕方を学ばれ、チームとしての一体感・連帯感を高められていました。皆様、長時間の研修、大変お疲れさまでした。



SKYT 講師 一本木 正行 様



SKYT 講師 佐野 弘 様



SKYT 講師 清水 武 様



SKYT 講師 林 敏哉 様



